



子供も大人も大笑い

発行元

芦屋市立あし運動センター
あし生活センター
リードあし

「わくすぺ」に親子30人



「夏休み！わくすぺシヤル・おやこDAY」が8月6日に芦屋市立あしや市民活動センター「リードあしや」で開催された。約30人の親子が参加し、絵本の読み聞かせや腹話術、二胡(中国の楽器)の演奏を楽しんだ。その他にもクリアファイル作りや打ち水体験、工作やオリジナル缶バッジの作成など、楽しいイベントが盛りだくさん。ワークショップに参加してスタンプを集めるとプレゼントが貰えるという嬉しい企画もあった。

腹話術人形「ニコちゃん」を披露したのは、芦屋

「夏休み！わくすぺシヤル・おやこDAY」では絵本読み聞かせもあり、「本の虫のネット」の絵本ボランティア熊懷賀代さんと、田村享子さんが語って聞かせた。

この日、取り上げたのは、野菜のクイズの本や、オリンピックの本、とても大きな本、二冊ならべて二人で交互に読む本、そして、えらいえらいと誉める本など。子供たちは、それぞれの世界を楽しみながら、食い入るように聞いていた。また、クイズが出題されたときには元気に答

絵本に年齢は関係なし

ボランティア2人が読み聞かせ

TI Oクラブの西本佳子さん。「普段は高齢者への活動を中心にしているのですが、子供を相手にするのは緊張した」と苦笑いしつつも、「子供たちが喜んでくれたのなら嬉しい」と終始笑顔だった。

芦屋TI Oクラブは「TIIちいきで」「IIIちいきき」「OIIおもしろく」をモットーに、ボランティアを中心に活動している。西本さんは、普段の活動について「地域に貢献していると感じることが生きがい

で、モチベーションになっている」と述べ、「ボランティアの要望があれば、すぐに飛んで行く」と話していた。

メンバーによる二胡の演奏では、救急車の音や虫、動物の鳴き声など、さまざまな音を奏で、子どもたちを喜ばせた。また、ドイツニームドレーや赤とんぼなど有名な曲も披露し、子どもはもちろん、一緒に参加した親たちも楽しそうな表情で聴いていた。

(吉村真奈)



え、「パンダ オリンピックたいそう」という本のときは一緒に元気に踊った。

熊懷さんと田村さんは、

普段は小学校で読み聞かせの活動をしているといい、「子どもたちのかわいい反応が見られたので嬉しかった」と話していた。

力合わせ工作に挑戦

金メダルや缶バッジづくり



参加していた三木さん親子にもインタビュウをした。子どもは「スイカの大きな本がよかった」と笑顔

を見せ、親子ともに満足した様子だった。

(的場真輝)

絵本の読み聞かせ、腹話術、二胡の演奏の後には、ワークショップがあり、オリジナルのクリアファイルづくり▽缶バッジづくり▽金メダルづくり▽折り紙▽打ち水体験の5つのブースが設けられた。すべてを体験するとお菓子のプレゼントがあり、次々に挑戦する親子の姿が見られた。

クリアファイルは、クラーク記念国際高校の3人が出展。参加者が紙に描いた絵を印刷機でファイルに転写し、世界に一つだけの作品に仕上げた。

缶バッジは、芦屋大学ボランティア部 Aqua のメンバーらが手ほどき。円形の枠の中に、子どもたちが思い思いのデザインをし、専用の機械でプレスしてバッジをつくった。

金メダルは、黄色い粘土でメダルの形をつくり、ピースなどで彩って仕上げた。そして「いつも元気」「がんばってる」など、受賞理由を書き添えた。

妹の紡希ちゃん(2)と参加した土田晴澄君(5)は、母親にプレゼントするメダルをつくり、「おかあさん、いつもごはんをつくってくれてありがとう」と感謝の言葉を添えた。「上手にできたので、お母さんにかけてあげる」と笑顔だった。